

おのぶん(尾道大学)

◎チーム紹介と活動内容

「おのぶん」は、尾道大学芸術文化学部日本文学科の6名からなるチームです。

活動内容は、子どもたちの宿題のお手伝いをする学習支援や子どもたちと一緒に遊んだりするなど私たちができる活動を行います。

◎活動の様子

活動教室：三原市いとさき放課後子ども教室

日 時：平成23年9月21日(水) 15:00~17:00

場 所：糸崎小学校

参加人数：5名(大学生ボランティア) , 38名(子ども)



最初は宿題からスタート。子どもたちは、大学生から頑張っている姿をほめてもらったり、分からないところを優しく教えてもらったりして、にこにこしながら宿題に取り組んでいました。早く大学生と遊びたかったのか、いつもより早く宿題を終える子どもも多かったようです。



宿題の後は、体育館でバスケットボール、おにごっこ、フラフープなどをしました。自由遊びだったので、自分が好きな遊びを大学生と一緒にして楽しみました。広い体育館の中に、子どもたちの嬉しそうな声が響いていました。子どもたちからは、「楽しかった」「また来てほしい」という感想が多くありました。

○学生の皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

子どもたちとの活動時間は、短い間でしたが、交流を持つことで楽しい時間を過ごせた。子どもたちとの活動を通して、コミュニケーションや集団行動について今までと違った視点を得ることができた。子どもたちと触れ合うことで、私たちも様々なことを学ぶ事ができました。

○市町スタッフの皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

大学生は、子どもに声を掛けたり勉強を見たりして、真剣な様子で子どもにとけこんでいました。体育館で一緒に体を動かした後、子どもたちは、「今日は楽しかった～」と言っていました。

体を動かすこと(体育館での遊びや競技)で、高学年の男子には若い大学生との触れ合いは必要なのでよかったと思います。日常の放課後子ども教室のスタッフでは無理なことが多いですが、今回の活動は、活気がありとても良かったです。子どもたちも喜んでいました。